

北海道教育大学附属函館中学校 副校長 黒田 諭

「一年間を振り返って」

はじめに生徒の皆さんへ。本校の校訓は「自主・明朗・知徳」です。この言葉は校歌にも含まれており、目指す生徒像にもつながります。日々の学校生活を送る中で常に意識したい言葉です。今年度は、学校全体でSR(Self-Regulation)フォームを定期的を実施し、自分の行動を振り返ったり、次の自分の行動への見通しをもったりする活動を行いました。これは本校の目指す生徒像の一つである「強い意志をもち、自主的に行動し、創造性に富む生徒」と深く関係します。この生徒像は、

- ① 言われると行動できる。
- ② 言われなくても行動できる。
- ③ 言われなくても適切に創造しながら行動できる。

という三つのステップでイメージすることもできます。このうち、②③の段階が「自己調整」が有効に働いている状態で、目指す生徒像に近づいている姿といえます。このことは、学習面や生活面など、様々な場面で重要な視点です。ぜひ、今年度取り組んできたことを今後の生活に生かしてもらえればと思います。

そして保護者及び関係の皆様へ。「桐の花 一七十四号一」(北海道教育大学附属函館中学校生徒会)や本校の公式ホームページでも紹介しておりますが、今年度も、子供たちは学校内外において、運動面、文化面ともに、それぞれの個性が光る活躍を見せてくれました。保護者及び関係の皆様には、子供たちを見守り、個々の状況に応じた形でサポートして下さったことに改めて感謝申し上げます。

また、日々の学習においては、一人一台端末を活用した取組の中で、各教科等での資質・能力に加え、情報活用能力についても教科等横断的な視点でその育成を図って参りました。今年度は、それらの実践をまとめる形で「1人1台端末活用のミライを変える！BYOD／BYAD入門」(明治図書)を刊行するとともに、いただいたご意見等をもとに自らの取組を振り返ることができました。

子供たちには、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となってもらいたいと願っております。

保護者及び関係の皆様には、引き続き、本校に対するご支援・ご協力をお願い申し上げ、一年間の振り返りとさせていただきます。